

ゆっくりゆっくりねむくなる

代田小・6 田島 秋乃

このしずかな空間の中

先生の丸つけする音

となりのクラスの遠い声を

感じながら

ゆっくり ゆっくり ねむくなる

自分の部屋

絵をかこうと 紙を置く

何をかこう 考えても 考えても

何も思いつかない

妹とお母さんの話し声

庭の木の葉がこすれる音

紙を置いたつくえにほっぺをつけて

何の絵をかこうか考える

私の部屋の

古いマンガの 古い紙のにおいを

感じながら

ゆっくり ゆっくり ねむくなる

学校の教室

テストが終わり たいくつになる

とけいの秒針は動く ゆっくり ゆっくり

時間は進んでないように

話し声はない

せん風機のしずかな音

つくえにつぶして

ああ ねちやいけないのに

夜ねれなくなるのに

けれどわたしは

今日も

ゆっくり ゆっくり ねむくなる